



調布市議会議員（平成15年6月1日就任）

鮎川 有祐
 川畑 英樹
 小林 充夫
 渡辺進二郎
 小林 市之
 宮本 和実
 井上 耕志

林 明裕
 八木 昭子
 大河巳渡子
 荻窪 貞寛
 伊藤 義男
 大須賀浩裕
 福山めぐみ
 伊藤 学
 武藤 千里
 内藤 良雄

雨宮 幸男
 漁 郡司
 任海 千衛
 白井 貞治
 杉崎 敏明
 土方 長久
 前当 悦郎
 鈴木 正昭
 元木 勇
 山口 茂
 広瀬美知子



議会刊行物

発刊にあたって



調布市制施行五十周年を記念し、調布市議会の半世紀のあゆみを取りまとめた「調布市議会50年史」が、このたび発刊の運びとなりましたことは、誠に感慨深く、喜びにたえません。この50年史は、市制施行二十周年を記念して発刊された「調布市議会20年史」の内容も含めて、昭和三十年から平成十七年までの五十年間の議会の足跡について時代背景とともに振り返り、その足跡を後世に伝えることにより、これからの調布市発展の一助とするとともに、今後の議会活動に活かすことを目的として編さんしたものであります。

調布市は、昭和三十年四月の市制施行当時四万五〇〇〇人余りであった人口も、多くの皆様の御尽力などにより市勢は目覚ましい発展をとげ、今や二万人を超える人口を擁する中核的な都市となりました。調布市が誕生した当時と比較して私たちの生活は豊かになりましたが、市民意識はバブルの反省に立ち、精神的に潤いのある生活を、また物より心に価値観を見出してきています。これからのまちづくりは、これら価値観の変化も踏まえ、人間性豊かなまちとしての基盤整備などを行うとともに、心が通う幸せあふれる施策を展開していくことが重要であります。そしてすべての人々が、手を取り合って暮らしていけるまちに発展させ、次代に引き継いでいくことが、私たち市議会に与えられた使命であります。

結びに、この発刊にあたり、資料の提供などで御協力をいただきました関係者の皆様方に対しまして厚くお礼を申し上げます、発刊のことばといたします。

平成十八年三月

調布市議会議長 杉崎敏明

発刊を祝して



このたび、市議会五十年の歩みを取りまとめた「調布市議会50年史」が発刊されますことを、心からお喜び申し上げます。

調布市は、昭和三十年四月に調布町と神代町が合併し、四万五〇〇〇人余りの人口をもって、東京都で八番目の市として誕生いたしました。

以来、多くの先人や市民の皆様を支えられ、今なお色濃く残る武蔵野の豊かな自然と、都心への恵まれた交通環境による市民生活の利便性などが調和した、人口二一万人余を擁する中核都市として発展してまいりました。

この間、歴代の議長、副議長をはじめ、議員各位には市民福祉の向上に向けて多大なご理解・ご協力を頂きましたことに、心から敬意と感謝を表する次第であります。

近年、市民意識もそれまでの経済優先の考え方から、環境や生活重視の考え方に大きく変化してきております。このような時代要請のもと、市の担うべき役割はますます大きくなり、市民生活の真の豊かさの実現に向けた施策の展開が強く求められております。

こうした状況の中、市議会の足跡を取りまとめた「調布市議会50年史」が発刊されますことは大変意義深く、貴重な歴史文献としての役割だけにとどまらず、今後のまちづくりを進めるに際しましても、大いに参考になるものと確信しております。

終わりに、調布市議会の更なる発展と議員各位のご活躍をご祈念申し上げます、お祝いのあいさつといたします。

平成十八年三月

調布市長 長友貴樹